

環境目標に対する進捗状況

2020年度・2013年度目標と2013年度実績

環境保全活動の分類	項目	2020年度達成目標	2013年度実績	結果
地球温暖化防止への取り組み	鉄道事業のエネルギー使用量	8%削減(2010年度比) 527億⇒485(億MJ)	1.9%削減 517(億MJ)	
	自営電力のCO ₂ 排出係数	30%改善(1990年度比) 0.457⇒0.320(kg-CO ₂ /kWh)	33%改善 0.304((kg-CO ₂ /kWh) ^{※1})	

環境保全活動の分類	項目	2013年度達成目標	2013年度実績	結果
地球温暖化防止への取り組み	単位輸送量あたり列車運転用電力量	6.8%削減(2006年度比) 1.85⇒1.72(kWh/車キロ)	5.4%削減 1.75(kWh/車キロ)	
	支社等における単位床面積あたりエネルギー使用量	3%削減(2010年度比) 0.0467⇒0.0453((原油換算)/m ²)	13%削減 0.0407(kL(原油換算)/m ²)	達成
資源循環への取り組み	駅・列車ゴミのリサイクル率	90%	94%	達成
	総合車両センター等で発生する廃棄物のリサイクル率	95%	95%	達成
	設備工事で発生する廃棄物のリサイクル率	95%	96%	達成
	グリーン購入実施率 ^{※2}	100%	100%	達成
沿線での環境活動	東北・上越新幹線の騒音対策75dB以下 ^{※3} (騒音対策対象地域について)	[2015年度達成目標] 100%	実施中	
環境マネジメント	全グループ会社が具体的な数値目標を設定	継続して目標設定	設定済	達成

表内 ■■■■ はグループの目標。

※1 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づき計算を行った数値となっています。

※2 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」第6条の基本方針に定められた品目等を購入した実績の有無を指標としています。

※3 国の指導により指定された地域の75dB対策については既に完了しています。現在、2015年度完了を目途に、それ以外の地域についても段階的に改良工事を進めています。

2013年度目標に対する評価

単位輸送量あたり列車運転用電力量

列車運転用の省エネルギーについては、省エネ車両の導入・電力貯蔵装置の導入などの取り組みを進めてきましたが、2010年の東北新幹線八戸～新青森駅間延伸開業に伴い、在来線より原単位(kWh/車キロ)が高い新幹線の占める割合が相対的に高くなりました。次の2016年度目標においては、北陸新幹線の開業も見据えて、在来線及び新幹線をそれぞれ目標設定していきます。